

七月、夏休みの季節

高校生の皆さんは、今年の夏、どんな計画がありますか？勉強の人、部活で合宿の人、海外ホームステイの人など、早くから計画を立てて待ち望んでいることでしょう。

「学長コラム」にある私のメールアドレスに、二週間ほど前、とても嬉しいメールが届きました。ご本人の許可をいただいで、以下に掲載します。

『はじめまして。私は作業療法士になるのが夢で、昨日、福岡での国立大学説明会に参加して、長大の職員の方から色々相談にのって頂きました。オープンキャンパスの申し込みをしましたので、その時、学長さんの講演を聴くのを楽しみにしています。』

ところで、おととい、私は長崎に行った時、書店で学長さんの書かれた「大学の窓から」という本を購入し、長崎大学の事がとてもわかりやすく書かれているなと思いました。他に長崎大学に関する本はありますか？

メールで教えてくだされば幸いです。お手数ですが、よろしく願います。』

九州に位置する十一国立大学が一緒になって大学説明会を東京都、広島市、福岡市で開催するようになって三年目になります。メールをくださった方は去る六月十五日、福岡市の説明会に来てくださったのです。

さて、毎年七月の長大オープンキャンパスには年々、参加者が増加して、昨年は四千人もの参加者がありました。とても嬉しいですね。

長大のオープンキャンパスは八つある学部の担当者がそれぞれの学部の特徴を説明し、また教職員・学生がそれぞれの学部を案内する形で行われます。

しかし、この形のオープンキャンパスでは、参加者は見学と説明を希望する学部のことには理解できても、長崎大学全体について「どんな大学で、どんな将来展望を持っているか」の理解が十分でないと思うのです。

大学にはそれぞれ固有の歴史があります。そして、大学全体として目指す方向(目標)や、教育研究の理念(目的)はその大学の歴史と分かちがたく結びついていることを忘れてはなりません。

今年の長大オープンキャンパスでは、参加の皆さん(もちろん希望者)に中部講堂に集まっていたとき、学長の私が長大の歴史と、将来展望を語ります。

「長崎は四百年もの昔から街全体が大学だった。長崎で学んだ海舟、龍馬、諭吉らはみな長大OB。現代の若者よ、長崎に來たれ。そして、日本、世界へと羽ばたけ。」

これは私が書いた長大のコピーです。どうですか？「大学の歴史」などという堅苦しくて退屈と思われるかもしれませんが、私の話は違います。

自分で言うのもなんですが、毎年、長大新入生の全員に話しますが、大好評なのです。オープンキャンパスでは「游学のまち長崎」と長崎大学」と題して話します。

七月十九日の長大オープンキャンパス、皆さんの参加を待っています。I can hardly wait.

CONTENTS

【特集】 大学院国際健康開発研究科 2008年4月新設	2
【留学生のキャンパスライフ】 蔡 君柔さん (シンガポール)	8
【We Love Circle】 「わかもん!ASIA 舞蹈祭」実行委員会	9
【いいたか放題】 長崎県医師会常任理事 草場 泰之さん	10
【～安全・安心・快癒を求めて～変わるキャンパス】 改修編・新築編	12
【自然災害を考える】 長崎の安全と安心～台風・高潮・竜巻～	15
【長大ニュース】	18
【古写真に見る近代ホテルの黎明期(2)】 京都 也阿弥ホテル	20
【インフォメーション】・【編集後記】	21

◎本紙記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 CHOHOO号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。

長崎大学長
齋藤 寛 Saito Hiroshi

追伸:
学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)
にもアクセスしてご意見をください。
メールアドレス: president@ml.nagasaki-u.ac.jp
必ずお返事します。